

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭46年～			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	03 災害に強いまちづくり
	小項目	施策	03 海岸整備
事務事業名			01 農林海岸施設管理事業
根拠法令・規程等			海洋法
担当課(室)			農林水産課
職・氏名			耕地治山係長 小川勝巳
電話			0869-64-1830

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	農林海岸保全区域内の農地及び市民
目的(何のために)	津波、高潮、波浪、その他海水又は地盤の変動による被害から、農地および市民を保全する。
行政活動(どのような方法で)	海洋法に基づく、農林水産省農村振興局所管の海岸保全区域に指定されている海岸について、岡山県が実施する堤防、護岸等の海岸保全施設の整備工事に對し事業費の一部負担と、県や地元との調整を行う。また、堤防の草刈等管理を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	農林海岸施設を整備することにより、津波、高潮、その他海水又は地盤の変動による被害から、農地および市民を保全する。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	樋門堤防補修	m	0.0	96.1	19.7
実績	海岸施設管理委託	m	1,100	1,100	1,100
	必要人員	千円	0.18人	1,571	0.04人
費	事業費	千円	1,741	5,427	2,827
	国・県・市支出金	千円	100	100	100
源	受・益・者・負・担	千円			
	総・入・金・債	千円	1,641	5,327	2,727
受・益・者・負・担・比・率		%			

結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	樋門堤防補修	m	0.0	96.1	19.7
結果指標②	海岸施設管理委託	m	1,100	1,100	1,100
	必要人員	千円	0.18人	1,571	0.04人
事業費		千円	1,741	5,427	2,827
国・県・市支出金		千円	100	100	100
受・益・者・負・担		千円			
総・入・金・債		千円	1,641	5,327	2,727
受・益・者・負・担・比・率		%			

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
		0	96.1	19.7	無し
樋門堤防の補修	実績値(B)	0	96.1	19.7	到達目標年度
	達成率(B/A)	#DIV/0!	100.0%	100.0%	無し
成果指標設定の考え方・式や説明					
本事業は維持管理的事業であり、そのつど必要が生じた箇所について対応しているため、施設全体での目標設定は出来ない。県営事業にて17から21年度までの5か年で、事業実施するため、それぞれの年度ごとの事業費を成果としている。					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	市 関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 経年により背後地の農地が減少し宅地化が進んでいるため、受益者も農業者と非農業者とが混在している。このことから農林海岸としての機能が希薄になってきており、事業そのものは防災面、安全で快適に暮らせるまちづくりの観点から必要である。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input checked="" type="checkbox"/> 説明 防災施設としての市民からの要望が強い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 県営事業であるが、備前市の負担分があるため、緊急性を検討して要望を行っている。また、人件費は、21年度要望箇所の調査、地元調整のため増加した。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 維持管理的事業であり、随時護岸崩落等の補修の必要が生じた箇所について対応しているため、施設全体での目標設定や成果を数値では顕せない。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	堤防補修(35.2m)	樋門設置(4箇所)	結果指標量②	草刈等の堤防管理	成果指標量
		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
状況			○			休止
説明	平成21年度は、県営の安全安心おやかま農山漁村基盤臨時整備事業で、鶴海海岸の護岸整備、夕々井海岸の樋門整備を行う。また、例年どおり穂浪海岸の草刈を行う。					

総合評価		評価区分<A~E>
農林海岸背後地の保全のため必要な事業であり、経年により保全対象が変化してきているが、近年の高潮台風に対応できるよう緊急箇所を検討した上で、整備を進める必要がある。		B

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
状況		○				廃止・完了
説明	平成22年度以降は、随時補修の必要が生じた箇所について県に要望していきたい。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	妥当性	現場条件を精査し、緊急性などから優先順位を検討する。	毎年	緊急度の高い地区を早期に整備でき、高い投資効果が得られる。		
効率性	県、地元関係者との協議を密に行う。	毎年	事業の円滑な進捗が期待できる。			